

30 広報活動による環境情報の提供

共通

取組概要	進行管理の指標	平成24年度の取組結果	
<p>広報活動の一環として、上下水道局が行っている環境施策について情報提供を積極的に行います。</p>	<p>○効果的な情報提供、PRに向けた取組</p>	<p>○川崎国際環境技術展等の各種イベントで、局による環境への貢献に向けた取組について積極的にPRを実施</p>	
		評価	B

今後の取組
<p>○水道及び下水道の連携強化と内容の充実を図りながら、より効果的な情報提供・PRを実施</p>



かわさきみずみずフェア

31 環境報告書・環境会計の公表

共通

取組概要	進行管理の指標	平成24年度の取組結果	
<p>上下水道局における環境保全の取組状況を市民の皆様にお知らせするため、環境会計※を導入し、各年度の決算版として環境報告書を作成・公表しています。</p>	<p>○上下水道局環境計画年次報告書（平成23年度決算版）の作成・公表</p>	<p>○平成25年3月に環境会計を包含する形で平成23年度決算版上下水道局環境計画年次報告書を作成・公表</p>	
		評価	B

今後の取組
<p>○平成24年度決算版について環境計画年次報告書を作成・公表</p>



※環境会計 環境保全の取組に必要とされる環境保全コストと効果を比較し、その評価を明らかにするための会計手法

上下水道局環境報告書

上下水道局における電力需給対策

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を教訓とした取組として、次のとおり電力需給対策に取り組んでいます。

◆川崎市上下水道局電力需給対策概要

水道事業、工業用水道事業及び下水道事業は、その活動過程において多大な電力を必要とし、市役所全体の電気使用量の4割強を占めていることも踏まえ、上下水道局の電力使用施設について、本庁舎等の執務室と浄水場・水処理センター等の上下水道施設に区分し、平成23年度の秋期から季節ごと（春期：4～6月 夏期：7～9月 秋期：10・11月 冬期：12～3月 ※平成25年度からは年間を通した方針を策定）に基本方針を策定しており、節電等に継続的に取り組んでいます。

・執務室

本庁舎や各事業所等については、市役所の取組内容と同様に、照明の間引き・減灯等により総電気使用量を平成22年度比で15%以上削減することを目指します。

・上下水道施設

浄水場、水処理センター等については、配水量及び処理水量に応じて電気使用量が変動するという特殊性があり、計画的に電気使用量を15%以上削減することは市民生活に多大な影響を及ぼすため、施設電力需給バランスの確保に寄与することを目的とし、送水ポンプの運転台数削減（浄水場等）や、給排気ファンの間欠運転（水処理センター等）により、ピークカットの視点を中心とした節電に取り組んでいます。

上下水道局における電気使用量(単位:kWh)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	(対平成22年度比)
執務室	1,460,320	1,163,046	1,236,567	(△15.3%)
上下水道施設	145,948,839	140,848,035	136,726,245	(△6.3%)
水道・工業用水道施設	44,665,319	43,680,463	41,478,547	(△7.1%)
下水道施設	101,283,520	97,167,572	95,247,698	(△6.0%)
計	147,409,159	142,011,081	137,962,812	(△6.4%)

※ 契約電力が500kW以上の施設については、最大使用電力を概ね10%以上削減（平成22年度比）しています。
 契約電力500kW以上の施設・・・水道・工業用水道施設（鷺沼配水所、長沢浄水場等）、
 下水道施設（入江崎水処理センター、渋川ポンプ場等）の計16施設

電気使用量の推移

